



たか おか しょう ゆう
高丘捷佑

曹洞宗僧侶。愛知県生まれ。大正大学人間学部仏教学科卒。仏教情報センターテレフォン相談員。現在は島根県松江市・善慶寺に在籍。ドイツでの遊学を通して見た、ホスピスや社会事業による看取りを参考に、現代日本で僧侶として人の生死に直接関わる活動を模索している。



相談員として福祉施設の入居者と触れあう(高丘)

てとりあげられたり、普通だったら訴訟になるような類のことが、当たり前になり通つていたり、重要な伝統とご都合主義の因習が一緒にたにされたままで、一般の社会常識では無くてもやっていけてしまうようなシステムで動いていると思いませんか？

市橋▼その中にいる私たちがって世間知らずな面はありますか？

緑川▼だからこそ、伝統のいいながら外を見ている人たちが話す機会を持つのは大事なことです。

です。外に向かつて積極的に活動していれば、一般の人も含めて色々な人たちと触れ合えるし、視野が広がって因習に流されないうことにもつながりますよ。この女子会にしても、女同士という理由だけで群れちゃうのは嫌だけど、それぞれが独立した考えを持って意見が言い合えるというの、とても良いと思います。

飯島▼群れて馴れ合いにはなりたくないし、いつも新鮮でいたいですよ。常に既存と違う新しいものを育てて、自分にも後進にも、進む場所の選択肢を広げておきたいですね。

緑川▼世の中がどんな風に展開していくかわからないし、変遷の速度もどんどん変わります。いろんな場所で可能性の種をいっぱい蒔いておかないといけませんね。

高丘▼大自然の動植物だって、同じ種類が同じ環境で育つと絶滅する可能性が高くなります。大切にしなければいけない伝統や仏法の本質からはずれない限り、みんなが同じように「右向け右」で振る舞う必要はありません。

緑川▼今日のメンバーにしても、居る場所は違っても視線が向いている方向は同じ。そういう方々とのつながりは楽しいです。

すね。

飯島▼普段はまるきり違う活動をしているこの5人が、何かのときにはヒョイツと集まって、各々の得意分野で一緒に活動できたらいいですよ。

市橋▼それ良いな！子連れで来ても良いんですか？

高丘▼もちろん！それならいっそ主婦も主夫も子連れで参画できるように、託児場を完備して企画してはどうでしょうか。

私、子ども好きですから面倒みますよ(笑)。

市橋▼そういう場なら、僧侶の子どもたちが、自然に宗派を超えて関係を作っていくのかもしれないし、親世代の僧侶の活動や交流も、遊びの中で身近になるかもしれませんね。

三須▼場所はみんなの地元を順々に訪ねるってのはどうですか？りんごの花の季節には、長野にピクニックのために集まったって良いし。

飯島▼そうですね。会合で何年に一度なんて決めず、ずっと合わないことが続いても良いんだし。変に組織立てずに、あくまで個々の活動を前提にして、柔軟に長く付き合いたい。今日の集まりも、気がついたらもう始まってから4時間以上！お喋りできて本当に楽しかったです。



い い じ ま け い どう
飯島恵道

長野県松本生まれ。尼寺育ち。看護師としての経験を生かし、医療と宗教の領域を横断する「あまんず(amans=ama(尼)+ns(ナース、看護師))」として活動中。

信者宅での血圧検査もあまんずならではの接化(飯島)

